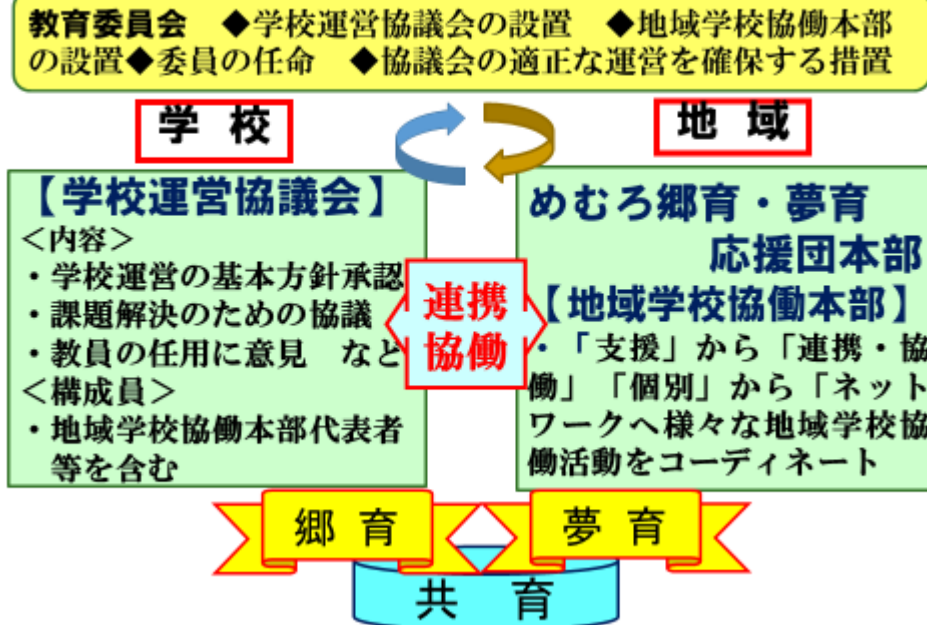


めむろ郷育・夢育応援団員（学校支援ボランティア）を募集します。

芽室町では昨年度より全学校でコミュニティ・スクール（以下、C・S）制度を導入しています。この制度は学校運営や学校の課題に対して、広く保護者地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。

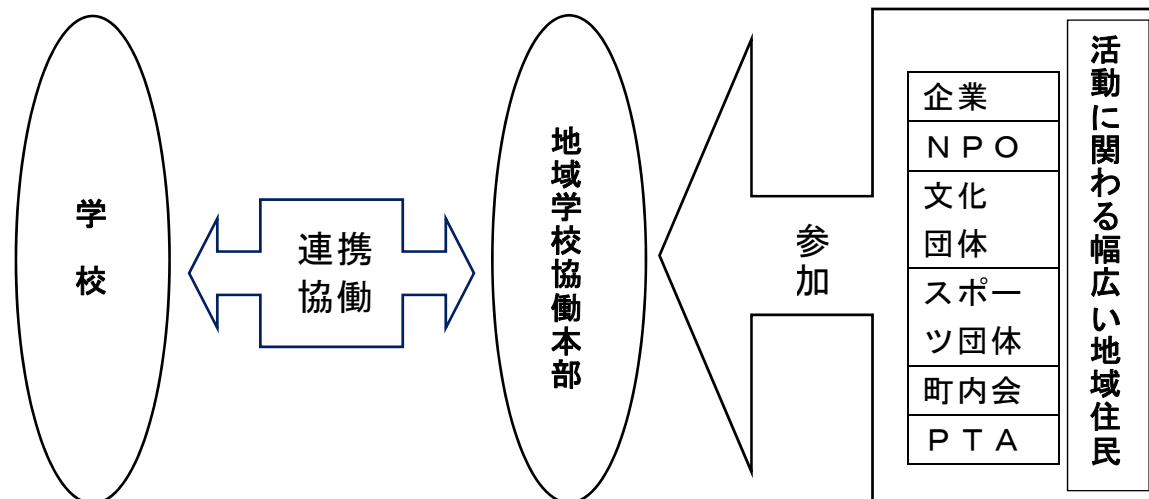
◇芽室町コミュニティ・スクール(CS)の基本型



このC・Sを推進するために「地域学校協働活動」が有効です。この活動は地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業や団体・機関等幅広い地域住民の参画により、社会全体で未来を担う子どもの学びや成長を支えとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して学校と地域がパートナー相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。

芽室町は「地域学校協働活動」を実施するため、昨年、地域学校協働本部となる「めむろ郷育・夢育応援団本部（以下、応援団本部）」を設置しました。

応援団本部は地域住民と学校関係者との連絡調整機能や地域学校協働活動の継続的・安定的で、多様な活動が実施できるよう体制整備を進めます。



「地域学校協働活動」に取り組むと？

子どもたち、学校、地域へ次のような効果が期待されます。

子どもたちへの効果

- ・子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- ・自己有用感や他人を思いやる心が育ちます。
- ・地域の人たちとの交流が深まり、コミュニケーション能力の向上が図られます。

学校への効果

- ・地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- ・地域人材を活用した教育活動が充実します。
- ・地域の協力により学校図書館や花壇等の環境整備が充実します。

地域への効果

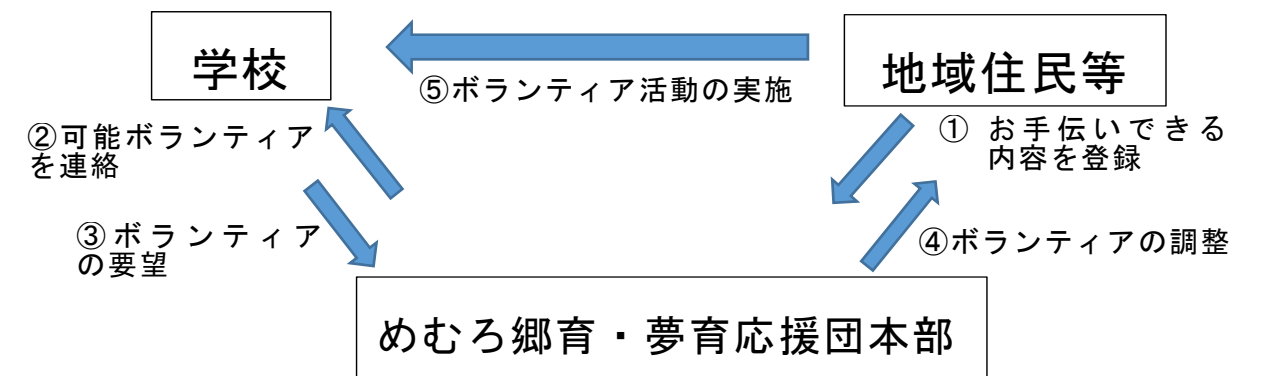
- ・経験を生かすことで生きがい・やりがいにつながります。
- ・学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- ・学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- ・地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

めむろ郷育・夢育応援団員（学校支援ボランティア）って？

「地域学校協働活動」の推進のため、地域の方々が学校等で実際に行っていただく活動です。登下校の見守り活動、学校の環境整備や学校の授業の指導補助等、様々なボランティア活動があります。

ボランティアを活動するために特別な資格は必要ありません。学校の要望をもとに、応援団本部（事務局：教育委員会）が実施に向けて協力していただける方の調整を行います。また、めむろ郷育・夢育応援団員から寄せられる提案については応援団本部が学校と協議を行います。

○地域学校協働活動の流れ



※ボランティア側からは①から⑤の流れになります。学校側からは③から⑤